

猛烈な残暑と、急激な気温の変化に年少児の中には、体調を崩す子も、それでも、9月末になると朝晩は涼しい秋風が吹き、コスモスが揺れている。刈り取られた田の上では、秋あかねが舞っている。鎮守の杜の銀杏も色づき始め子ども達が実る秋になった。

園庭ではエンドレスのかけっこ、リレー、ふたばよさこいソーラン、年少少児の遊戯に全園児が踊りだす。

コロナも収束に向かい、子ども達の樂園に、明るい歓声が響く。



### 行事予定表

4	火	ピヨピヨひろば
5	水	給食費の引き落とし(3歳児以上) 絵本の読み聞かせ(5歳児)
13	木	カレーの日
14	金	交通安全教室(4・5歳児)
18	火	運動会予行練習
19	水	おべんとうデー 通報訓練
20	木	誕生会
28	金	運動会前日準備
29	土	運動会

### 「つぐは山に登ったよ!」

・9/27(火)に5歳児(そうグループ)の子ども達が、牛久市の大型バスに乗り筑波登山に挑戦しました。晴天に恵まれ、山肌や自分の背丈以上の大きな岩を、手と足身体全体を使い登り切りました。無数の赤とんぼが上空を飛び、子ども達の帽子の先にとまったり、山頂の澄んだ空気を感じたり自然を満喫しました。園に留守番のきりんグループも、憧れのそうグループの様子をとても気に掛けていました。

### 今月の予定の中から...

※4・5歳児が春に植え、草取りやお世話をしていたさつまいもが、収穫時期を迎えています。「うんとこしょ!どっこいしょ!」大きなお芋が掘れますように!



### ●カレーの日(13日)

・たいようぐみ、そらぐみの子ども達も野菜切りが大分板についてきました。しかし、先月はエプロン・三角巾を忘れる子ども達が多かったです。子ども達には、事前に伝えていますが、ご家庭でもお子さんと一緒に準備をお願いします。

### ●交通安全教室(14日)

・今日は、4・5歳児の参加の予定です。園の送迎の際にも、チャイルドシートに必ず乗るように習慣化していますか?子ども達の尊い命を守るのには大人ですね。

### ●おべんとうデー(19日)

・おべんとうデーは、子ども達にとって特別な日。「嫌いな野菜を食べて欲しい。」という思いも分かりますが、まずは、「残さず食べるんだよ」を目標にしたいですね。

### ●誕生会(20日)

・今日は、スケッチブックシアターです。誕生児にとって特別な日になる事と、誕生児以外の子ども達も他者を祝う気持ちが少しづつ

育っています。

### ●運動会(29日)

・前日は、午後から職員がアリーナの準備に出掛けます。早めのお迎えが出来るご家庭はご協力頂けると有難いです。また、当日参加の3歳児以上のクラス(だいちぐみ・たいようぐみ・そらぐみ)は、運動会の手紙をご確認下さい。☆にじぐみ・ひかりぐみ・ほしぐみの子ども達も体操や遊戯、かけっこ等を見学したり、自分達も真似たりしてたくさんの刺激を受けています。にじぐみ・ひかりぐみ・ほしぐみは、11月に保育参観を予定しています。

### ☆お知らせ

・非常勤職員の倉田友子先生ですが、一身上の都合により9月末で退職となりました。たことをお知らせ致します。

### 「加速する社会」

新聞の投書欄で、タブレットでの注文をめぐり、80代の客と店員が口論していたことについて、「時代についていく努力も必要」と言う意見があった。それについて、多方面からの投書が載っていた。

高齢者は、デジタル社会に置いていかれ、ストレスが溜まる。21世紀の近代は100年で変化するところを、10年も必要とせずに変化する。1年で大きく変わることもある。忙しく感じる。時の過ぎるのが速く感じる。▼年のせいかなと思っていた。

「ジャーネーの法則」がある。大人になると、体感時間が短くなる法則だ。感じる時間の長さは、年齢の逆数に比例する。それを、子どもは常に新しい体験をして感動したり、できないことにチャレンジして達成感を味わったり、失敗して辛い目にあたりたりする。子ども達は、活動的なんでも知りたがりやで、やりたがりである。毎日、新しい発見や学びが

あるからだという。だから、子どもの時間は大切なのだということに同意できる。

しかし、年を取っても、私は、活動的で意欲的で、知りたがりやで、やりたがりである。おまけに、感動し、泣いたり笑ったり、心豊かである。それなのに、なぜか時が過ぎるのが速く感じられる。心せわしくなっている。▼「加速する社会」という本を手にした。現代は誰もがますます忙しくなっていないか。IT、スマホを使い、電子メール、オンラインを活用しているのに、以前よりも時間が過ぎるのが速く感じられる。ストレスが高まる。

ずっと走り続けていないと、今の立場すら保てないのではないかと不安である。まるで、地滑りを起こしている急斜面に立っているかのような恐怖を感じる。社会が変化するスピードは、どんどん速くなっており、キャッチアップを少しでも怠れば、たちまち知識や情報は古びて、時代遅れになる。私達は同じ場所にとどまるために、できるだけ速く走っている。

「加速する社会」への適応を拒めば置いて行かれる。近代社会は絶えざる成長と上昇を必要とし、加速のプロセスが自らを強化して、さらなる加速をもたらす。

▼20世紀末に始まる「後期近代」は、加速と流動化がさらに進んで、臨界点を越えた時代だ。人も、政治も、経済も、加速プロセスに浸食されている。人生のうちに仕事や社会も変わり、アイデンティティーも流動化している。しかし、加速に抵抗したり、逃げたりしても、解決しない。加速に流されずに、読書し、音楽を聴き、自然の移ろいの中で、じっくりと思考し、時の流れを感じ、季節を味わいたい。人生の一時、一時を大切に過ごそう。

